

平成 30 年 11 月 報道機関との定例懇談会 要旨

□ 情報提供項目

青森県鱒ヶ沢町との連携事業である鱒ヶ沢町紹介コーナーの設置、大友良英スペシャルビッグバンドコンサートの開催、NHK 大河ドラマ「いだてん」トークリレーの開催、第 3 回侍マルシェの開催について市長が説明したほか、11 月の行事予定、イベント情報などについて報道機関にお知らせしました。

□ 記者との質疑応答

記者：鱒ヶ沢町での久慈市の展示コーナーはどのようなものか。

回答：鱒ヶ沢町役場の待合室の一角に久慈市の紹介や久慈市と鱒ヶ沢町のつながりのパネル、久慈市の特産品を展示している。大変充実した内容のものとなっている。

記者：先日、北岩手・三陸横断道路整備促進期成同盟会の設立総会があり、久慈市も構成団体の 1 つとなっている。今後、整備を目指す道路への考えを伺いたい。

回答：縦軸の三陸復興道路は 2 年余りでつながる予定だが、県北部横軸の道路整備は大きな課題である。宮古-盛岡間、釜石-花巻間の高速道路は、間もなくつながる見込みだが、改良のスピード感が違う。道路の線形や始点・終点はこれからの検討となるようだが、先を見据えて道路整備をしていただかないと県内の格差が拡大しかねない。道路整備は産業振興、雇用拡大だけでなく、観光・インバウンドに力を入れていくとき、走りやすい快適な横軸の道路は必要である。県北振興にとっては大事な道路である。

記者：八戸沖や北部の地震・津波が想定されているが、現状での被害想定、対応等あるか。

回答：具体的な被害想定はしていないが、久慈の防災の要は、湾港防波堤であり、国には整備をお願いしている。市内では、自主防災組織の立ち上げ、普段からの訓練、防災教育等ソフト面について力を入れていきたい。

記者：市外、県外の自治体と防災協定を結んでいるがさらに拡大する考えはあるか。

回答：日本全国で大津波、大規模な水害が心配されているが、地理条件やエリアの違う地域と協定を結ぶことができればと思う。協定を結んでいないため、災害対応に協力・連携しない訳ではない。

記者：県から県内の道路を整備して盛岡と都市を 90 分で結ぶ 90 分構想が打ち出されて、かなり経過している。平庭トンネルをつくり、10 年で道路改良の予定だった

が、どのようなルートがよいと考えるか。

回答：トンネルの整備にも経費がかかると思われる。トンネルにこだわらず、経費の面も考え、柔軟にルートを決めたい。

記者：葛巻の茶屋場から渋民へまっすぐ抜ける構想があった。平庭道路の改良が実現すれば、続いて、葛巻以南も改良が進み、時間短縮になる。是非、実現してほしい。

回答：葛巻町内を通る道路は大きく迂回しているため、時間短縮にはならないので、改良してほしいと考えている。

記者：岩手県の総合計画素案の中間発表の中で示された県北プラチナゾーンプロジェクトの期待、評価など伺いたい。

回答：プロジェクトにおいて具体的に何をやるかわからないので、具体的な事業を検討してほしい。

以 上